

自主学習グループ活動支援

様式 1

【事業一覧】

No	1	中央公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	7月 3月	自主学習グループ学習見学会（※）	実10519485 実10695638 報 —	
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	毎月1回 程度	自主学習グループ・クリーン作戦	実10530268 実10630934 報 —	
3	自主学習 グループ支援 事業	講義	2月10日(火)	みんなで考えよう！安全なくらし講座	実10711629 報 —	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	1	中央公民館			経費	—	
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業	
講座名	自主学習グループ学習見学会						
ねらい	① 会員を増やすための支援を行うことで、自主学習グループの維持・拡充を図る ② 学習成果の発表・地域還元への支援 ③ 自主学習グループの広報活動支援 ④ 利用団体の連携と交流の促進						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☒ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（広報まえばし）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	7月1日(火) ～ 7月31日(木)		中央公民館を利用する自主学習グループの学習時間を公開し、グループの活動に興味がある人に、自由に見学や体験をしてもらう。 参加グループ：53団体 見学参加者：37人 入会希望者：17人			—	—
2	3月1日(日) ～ 3月31日(火)		中央公民館を利用する自主学習グループの学習時間を公開し、グループの活動に興味がある人に、自由に見学や体験をしてもらう。 参加グループ：74団体 見学参加者：103人 入会希望者：29人			—	—

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	グループは活動への意欲が湧き、新規加入者は新しい一歩は踏み出すことができた
地域のニーズにこたえているか	○	人とのつながりの大切さや交流を通じてモチベーションを高めることができた
企画・事前準備は十分であったか	○	概ねできた
学習者の満足度はどうであったか	◎	見学会参加者の満足度はアンケートからも高かった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	グループの活動が参加者を通じて少しだけ波及することができた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	あらゆる媒体を通じて周知を図った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価		※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	B	学習見学会については年2回実施しているが、7月は夏場で高温になることから例年参加者が少ない。3月は年度末の節目で新しいことにチャレンジする方も多いため、7月と比較して参加者も例年多い。今後についてもグループ活動の維持・拡充、そして参加者の学習の機会を作ることが必要なことから継続して実施をしていきたい。
改善点		学習見学会に来る活動とそうでない活動があることから、見学に来ない活動にどのようにして見学に来てもらえるのかを考え、実践していく必要がある。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	上記の感想・意見と同様

留意事項等	
-------	--

	
活動の様子（学習見学会）	活動の様子（学習見学会）

様式 1

【事業一覧】

No	2	上川淵公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	9月 1日(月)	スマホ教室 (※)	実10555945 報10610314	
2	自主学習 グループ支援 事業	実習	11月10日(月) ～ 12月12日(金)	グループ見学体験月間	実10571578 報10707327	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	スマホ教室							
ねらい	① スマートフォンを使用して連絡を取ることで、仲間とのつながりを深め、活動の幅を広げる ② システム予約を学び、グループ活動をスムーズに進める。 ③ 公民館利用グループ間の情報交換の促進の場とする。							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他（通知文郵送）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	9月1日(月)		「スマホの使い方（初心者向け）」 初心者を対象に、スマートフォンの基本操作を学ぶ。			—	—	
	10:00	11:30				ドコモショップ 駒形インター店		
	20	9						
2	9月1日(月)		「システム予約体験（中級者向け）」 中級者を対象に前橋市公共施設予約システムの使用方法を学ぶ。			—	—	
	13:30	15:30				上川淵公民館職員		
	12	4						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	デジタル活用を通して地域社会とつながる機会として役割を果たした考える
地域のニーズにこたえているか	◎	デジタル活用を通して地域社会とつながる機会として役割を果たした考える
企画・事前準備は十分であったか	○	打合せを十分に行い、問題なく実施することができたため
学習者の満足度はどうであったか	◎	概ね満足いただけたと考える
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	予約システムの利用者が増えたことから人材育成ができたと考える
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	事前広報は行ったものの、期待していた参加者数には至らなかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価
◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点	45
-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	デジタル機器への理解が深まり、グループ活動の円滑な運営や情報共有の効率化に寄与した点は大きな成果である。特に、公民館の予約システムを操作しながら学ぶことで、利用手続きに対する不安が軽減され、主体的な利用促進につながった。また、スマホの基礎講座では、習熟度に応じた説明が行われ、デジタル活用への意欲向上が見られた。総じて、地域活動のデジタル化を支援する有意義な事業であったと考える。	
改善点	参加者の習熟度に差があり、説明の進行が一部の参加者には難しく、また別の参加者には物足りない場面があったため、事前のレベル把握や段階的な内容設定が求められる。また、実習時間が限られていたことから、操作を十分に繰り返す機会が確保できず、理解の定着に課題が残った。さらに、講座後の自主学習につながる資料が不足しており、継続的なデジタル活用支援の仕組みを整える必要がある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	本事業は、活動の維持・発展に必要な知識や技能を継続的に習得できる機会として有効に機能している。また、大規模改修により部屋利用が制限されている状況においても、比較的少人数で実施可能な本事業は、利用者の学習機会を確保し、改修期間中の活動停滞を防ぐ役割を果たしている。これらの点から、講座内容の変更や施設制限の状況下においても、次年度も継続する必要性は高いと判断する。	

留意事項等	
-------	--

	
スマホの使い方（初心者向け）	予約システム（中級者向け）

【事業一覧】

No	3	下川淵公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	7月28日(月)	聴こえの教室	実10524855 報10590421	
2	自主学習 グループ支援 事業	実習	12月 4日(木) 12月24日(水)	転ばぬ先の健康 リズムダンス教室 (※)	実10655203 報10708196	
3	自主学習 グループ支援 事業	実習	3月16日(月)	生演奏で歌って動いて健やか講座	実10727193 報10797902	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館			経費	¥9,000		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	転ばぬ先の健康 リズムダンス教室							
ねらい	① 新規自主学習グループとして定期的に活動することを目指し、自主グループ連協の会員増につなげること ② グループで活動することの楽しさを知ってもらうことで、既存の自主グループへの入会のきっかけとなること ③ リズムダンスを通じてリフレッシュし、参加者の日常生活に活力をもたらすこと							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☐ その他 (				

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	1 回目の講座終了時に「今回みたいに運動する機会が欲しいと思っていた」という参加者の声を複数聞いた
地域のニーズにこたえているか	◎	下川淵地区内の方の申込みがほとんどだった
企画・事前準備は十分であったか	○	講師と打ち合わせを行い、気軽に参加し、楽しんでもらえるように内容を考えていただいた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート満足度が2回とも100%以上と非常に高く、何人もの受講者が帰りに「楽しかった」と満足そうにおっしゃっていた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	自主学習グループとして活動することになった。会員も引き続き募集するとのこと
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	チラシを館内に配架した他、チラシの地区内回覧や館報への掲載を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	主催者としても、非常に手応えを感じることが出来た講座だった。参加者のほとんどが講座中とても楽しんでいることが、講座中の雰囲気から伝わってきただけでなく、毎回講座終了後に「楽しかった」という声を多く聞くことが出来た。運動したいけれど、どの様に身体を動かせばよいかわからないという年配のニーズを上手く汲み取ることが出来たのだと感じた。グループ化することにはなったが、メンバー同士はまだ打ち解けきれていない様子もあるので、グループとして定着するよう引き続き支援していきたい。	
改善点	講座の最中は、どの参加者もすごく楽しそうな様子で、グループ化に前向きだったが、いざグループ化に当たって役職決めの話になると、難しい雰囲気が漂った。今回は講座の回数が2回と少なかったため、メンバーが打ち解ける時間を十分に確保できなかったことも要因の一つであったと分析している。グループ化を目指す講座を行う場合は、連続4回程度を目安に企画をすることで、講座からグループとしてスムーズに移行することができるのかもしれないと感じた。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	今回とても満足度が高く、グループ化も実現できたが、毎回同じような内容では、参加者も次第に集まらなくなることが予想できる。次年度は運動にこだわらず、少し視点を変えてグループ化を実現できそうな企画をしたいと考えている。	

留意事項等	
-------	--

	
輪になってウォーミングアップの様子	講座で覚えた振り付けで踊る様子

様式 1

【事業一覧】

No	4	芳賀公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	実習	4月12日(土)	生演奏で歌って動いて健やか講座	実10468845 報10477471	
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	7月14日(月) ～ 8月10日(日)	芳賀公民館利用グループ見学・体験月間	実10545321 報10588523	
3	自主学習 グループ支援 事業	実習	8月 4日(月)	芳賀公民館利用グループ連協交流ボッチャ大会(※)	実10516137 報10588081	
4	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	11月27日(木)	健康マージャン初心者教室	実10637612 報10681085	
5	自主学習 グループ支援 事業	実習	12月 4日(木) 12月11日(木)	健康マージャン初心者教室復習会	実10681294 報10694365	
6	自主学習 グループ支援 事業	実習	1月22日(木) 1月29日(木)	健康マージャン初心者教室復習会②	実10702714 報10717080	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	芳賀公民館利用グループ連協交流ボッチャ大会							
ねらい	① 利用グループ同士の交流の機会とし、グループ活動の活性化およびグループ間の親睦を図る ② ボッチャを通じて軽スポーツに親しんでもらい、新たなグループ活動のきっかけにする							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他	(自主学習グループへの案内)			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	8月4日(月)		芳賀公民館利用グループ連絡協議会加入団体を対象に、グループ同士が交流する機会を設け、グループ活動の活性化およびグループ間の親睦を図ることを目的としてボッチャ大会を行った。			—	—	
	13:00	16:00				芳賀地区スポーツ推進委員 (鈴木勲さん)に協力を依頼		
	30	28						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	連協加入グループの横の交流が図れた
地域のニーズにこたえているか	○	連協グループ同士の情報交換ができた
企画・事前準備は十分であったか	○	用具の借用や会場の準備など万全にできた
学習者の満足度はどうであったか	○	簡単にできる軽スポーツのため、参加していただいた方には満足いただけた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	新しいレクリエーションに興味を持ていただけた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	グループへのチラシの配布および呼びかけ、ポスターの館内掲示を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	連協25グループのうち、約半数の11グループ28人が参加し、和気あいあいと楽しんでいた。ポッチャは老若男女を問わず簡単にできる軽スポーツなので、よかったと思う。また、芳賀地区のスポーツ推進委員に協力してもらい、ルール説明や審判の手伝いをしていただいた。初めての試みだったが、普段なかなか顔を合わせない他のグループとの親睦・交流や、活動内容に関する情報交換もでき、とても充実した内容になったと思う。	
改善点	外が暑すぎたためかホールのエアコンが全然きかず、扇風機を2台使用し、参加者にはうちわを配って対応した。幸い、具合の悪くなる方が出なくてよかった。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し」「改善」「廃止」で評価
主な理由等	内容は良いと思うが、会場の空調が不快にならないよう、実施時期を見直す必要がある。	

留意事項等	
-------	--



ボッチャ大会の様子



優勝した小鳥カラオケチーム

【事業一覧】

No	5	桂萱公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	研修	5月15日(木)	野外研修 (※)	実10474543 報10515774	
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	7月 1日(火) ～ 7月31日(木)	サークル見学・体験月間①	実10547053 報10622171	
3	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	2月 1日(日) ～ 2月28日(土)	サークル見学・体験月間②	実10725162 報10791318	
4	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	3月 3日(火)	フランスの文化とショコラのお話	実10725114 (中止)	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館			経費	—	
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業	
講座名	桂萱公民館 グループ研修「野外研修」						
ねらい	① 自主学習グループ会員同士の交流の機会として、学習の場を設けることにより、グループ活動の活性化を図る ② 公民館の外へ出かけて新しい知識を増やすことより、教養を高めるとともに学習活動の楽しさを広げる機会とする						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☐ その他 ()			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	5月15日(水)		「野外研修」～寺町を巡って城下町前橋を偲ぶ～ 上電に乗車して街中へ出掛け、市民学芸員の案内で寺町を形成している地域を散策し、寺院や街並みの歴史を学ぶとともに、参加者同士が交流を図る。			—	100円
	8:50	12:30				桂萱学習グループ連絡協議会 副会長 市民学芸員 川崎 始	
	なし	16					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	公共交通機関を利用して学習場所へ出掛け、学習することができた
地域のニーズにこたえているか	○	参加者が学習し、交流する機会が確保できた
企画・事前準備は十分であったか	◎	見学先への事前連絡で貴重な文化財を見せてもらうことができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート集計結果では「よかった」「とてもよかった」の合計が100%
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	寺院や前橋の歴史に興味を持つ人が増え、会員同士の会話材料が増えた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	会員数の割には参加者が少ないため、周知方法を工夫する必要がある

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	寺のある位置から、前橋城下町の広がりを知ることができた。徳川家の家臣、酒井氏ゆかりの寺々、埼玉県川越市との関係が深い。住職から説明を受ける機会に恵まれ、寺に関する知識が増えた。講師で市民学芸員の連協副会長は知識が豊富で、各所での説明が大変面白くて分かりやすかった。上電を使った移動は久しぶりという参加者が多く、いつもと違う交通手段が新鮮な驚きを生み、次回期待の声があった。
改善点		講座への参加者を増やすため、事前に希望調査や周知方法、参加者募集方法などについて検討が必要。学習グループをまとめる役員と事前相談を密に、また館内掲示や代表者を通じた参加依頼を分かりやすくするなど工夫して取り組む。以前のようなバスを利用した研修を望む声が多いため、再度検討する。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	グループ活動をより楽しむための講座を開催することにより、会員同士の交流が生まれ、グループ活動がより活発になるよう、継続を支援していく。

その留意事項等	実費負担金は保険料。電車利用者は、別途乗車料金を負担。
---------	-----------------------------

	
上電に乗車する様子（上泉駅）	城下町の説明を受ける様子（養行寺）

様式 1

【事業一覧】

No	6	東公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	実習	9月 1日(月) ～ 9月30日(火)	サークル見学・体験月間	実10513371 報10645362	
2	自主学習 グループ支援 事業	講義	1月19日(月)	「介護保険のはなし」 (※)	実10652686 報10725386	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	6	東公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	「介護保険のはなし」							
ねらい	① 自主学習グループ会員の増加と活動意欲の向上 ② 自主学習活動の地域へ向けた広報の強化 ③ 自主連協会員相互の情報交換の活発化							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（団体宛通知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	1月19日(月)		介護保険制度、認定申請、介護サービス等について学ぶ			—	—	
	14:00	15:00				前橋市 介護保険課 課長補佐 浅井 洋子		
	46	44						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	介護保険について学ぶことで、普段抱えている悩みに対する一助となるかと思われる
地域のニーズにこたえているか	○	介護保険について学ぶことで、普段抱えている悩みに対する一助となるかと思われる
企画・事前準備は十分であったか	○	企画、講師との調整、内容の確認等、余裕をもって準備をすることができた
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートによる満足度も概ね好評だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	介護保険について学んだことを周囲の人にも伝えていただくことを期待したい
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	自主グループ連絡協議会向けの研修であったため、各団体向け通知のみ

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

37

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今回は「介護保険のはなし」と題し研修会を行った。年代的に利用する機会が多くなりそうな話題のせいもあり、皆さん真剣に聞いていた。実際の事例に即しての内容ということもあり、大変参考になった。講師の話も大変分かりやすく、もっと詳細まで聞きたいところであった。身近な話題ということで、要介護認定の流れを事前に知っておくことで、いざというときの不安が解消されればと思う。また、地域包括支援センターが身近な相談窓口であるということを確認していただければ幸いである。	
改善点	身近な話題ということで、もう少し詳しく聞きたいという声があり、学習時間が1時間では少し短かったようで、参加者が自分の場合はどうなるかをイメージしやすくなる時間を設けた方が良かった。具体的には、講師の説明の時間の後残りの時間を、質問の時間を多くとるとか、実践的なアドバイスに充てる時間をとった方が良かったと思う。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学習グループ会員の活動意欲の向上や、会員相互の情報交換の活発化のためにも本事業を継続したい。	

その留意事項等	
---------	--

	
介護保険の話	介護保険の話

様式 1

【事業一覧】

No	7	元総社公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	1月22日(木)	自主学習グループリーダー研修会(※)	実10692246 報10751273	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	7	元総社公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	自主学習グループリーダー研修会							
ねらい	① 公民館を利用し活動をしている自主グループリーダー相互の学び合いと交流を図る ② 自主学習グループの会員が健康的に活動が続けられるよう、健康に関する知識の習得を図る ③ 研修を通して学んだことを地域に還元できるような体制づくりの推進を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（対象団体へ通知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	1月22日(木)		自主学習グループリーダー研修会 ・お口の健康			—	—	
	14:00	15:00				健康増進課 歯科衛生士 亀山 知香		
	33	28						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	高齢化した会員にも健康的に活動をしていただくため、健康に関する内容を選定した
地域のニーズにこたえているか	○	自主グループ連協役員への聞き取りから、ニーズを把握したうえで研修内容を決定した
企画・事前準備は十分であったか	○	ニーズを把握して研修内容を決定し、講師とも事前に時間配分等の打ち合わせをした
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケートによると満足度が90%を超えていた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	各グループの活動時に他の会員とも共有していただくよう促した
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	通知により周知できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今後も健康的に活動をしていただきたいという思いから講義内容を選定した。アンケートを見ると、日々の生活に直結していること、健康に関すること、講師のわかりやすい説明という点が評価されたと感じた。	
改善点	講義中心ではなく実技も伴うとなお良かったとの意見があったので、次回に生かしたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	本研修会の開催が、研修内容の学習にとどまらず、個々が自主グループ連絡協議会の会員である自覚を持つとともに、他のグループに対し、共に活動する仲間であると意識していただくことで、今後の活動により効果があると考えたため。	

留意事項等	
-------	--



リーダー研修会の様子（１）



リーダー研修会の様子（２）

様式 1

【事業一覧】

No	8	総社公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分		学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	自主学習 グループ支援 事業		展示	10月25日(土) 10月26日(日)	文化祭発表及び展示	—
2	自主学習 グループ支援 事業		実習	11月29日(土)	自主学習グループ連協 公民館清掃 (※)	—

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	8	総社公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	自主学習グループ連協 公民館清掃							
ねらい	① 自主学習グループとして、地域貢献の活動を行い、学習会員相互の親睦、連携を図る場とする							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（文書）				
回	月日						講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	11月29日(土)		自主学習グループ連協の会員による、公民館内の各部屋の清掃。				—	—
	8:00	9:00					—	
		39						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	△	関連なし
地域のニーズにこたえているか	○	地域活動として貢献できた
企画・事前準備は十分であったか	○	誰でも取り組めるよう準備を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	協力して取り組み、館内が綺麗になったことへの達成感
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	連協団体のみの活動であるため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	周知を2回行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 37

事業の総合評価	C	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	地域貢献と団体同士の交流・連携を図る場となった。	
改善点	研修や講座を実施できなかった。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域貢献と団体同士の交流・連携を図る場となるため、継続していきたい。掃除だけでなく、研修や学習グループ化に繋がるような講座を検討したい。	

留意事項等	
-------	--

	
清掃の様子（ホール）	清掃の様子（料理実習室）

様式 1

【事業一覧】

No	9	南橘公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	12月14日(日)	救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会 (※)	—	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	9	南橘公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会							
ねらい	① 南橘地区在住の地元の方及び自主学習グループに所属している会員について高齢化が進んでいるため、誰もがいざという時の初期対応やA E Dが使用できるスキルを身につける							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☐ チラシ	☒ その他 （ 団体代表者宛通知 ）				
回	月 日		学習主題・内容				講師謝礼金 額	実費負担金 額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	12月14日（日）		(1) 救急車が来るまでのやるべき行動についてビデオで予習 (2) ビデオを見ながら講師の指導を受け、実際にセットを使って1人ずつ胸骨圧迫の実習 (3) 周囲の人へのA E Dの準備、救急車出動の要請などの指導 (4) A E Dの使用法や注意点など指導を交えてセットを使って実習 (5) 今回学んだことを通しで復習				—	—
	9:30	10:30					消防局警防課職員 （まえばし出前講座利用）	
	55	17						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	連協の会員だけでなく、南橘地区在住の方の高齢化が進んでいるので喫緊の課題に対応していると思う
地域のニーズにこたえているか	○	地元からの直接の要望は受けていないが、連協所属の団体からは毎年開催の要望を頂いている
企画・事前準備は十分であったか	○	内容については他の公民館の実施状況を参考にして充実を図ったが、周知が準備不足だった
学習者の満足度はどうであったか	◎	救急隊員の説明がわかりやすく、今後も講習会を続けてもらいたいとのご意見をいただき、概ね好評だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	実際にAEDの使用の現場に立ち会った受講者も複数人いて、地域生活に役立っている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	館報と団体あて通知のみだったので参加者が少なかった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	参加者全員が熱心に座学・実習に参加し、消防署職員の説明に聞き入っていた。地元の方や公民館利用文化団体の会員も高齢化が進む中で、現在のメニューを継続的に受講することで、いざというときに誰でも緊急対応ができるようになることは重要だと思った。	
改善点	今年度は、初めて一般参加の募集を実施した。広報等で周知をしたが、全体的に参加者が少なく、特に一般参加者が1名と少ないのが残念だった。来年度に向けては地元への周知に工夫が必要だと感じた。	

次年度の事業継続の評価	拡充	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	高齢化が進む中、救急救命に係る講習会は重要度を増している。この機を捉えてできるだけ多くの地区在住の方に受講してもらうために参加者を増やす必要性を感じるので拡充とした。	

留意事項等	
-------	--

	
消防職員による初期対応の講義	参加者による胸骨圧迫の実習

様式 1

【事業一覧】

No	10	清里公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	11月 8日(土)	講座及び研修会 「南京玉すだれの実演、演技・ラフターヨガ・ キャップアップ体操・脳トレ」	出10571310 報 —	
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	11月16日(日)	「みんなでいっしょにおどりましょう！ うたいましょう!!の会」 (※)	実10547291 報 —	
3	自主学習 グループ支援 事業	実習	12月22日(月)	公民館全館清掃	—	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	10	清里公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援		
講座名	みんなでいっしょにおどりましょう！うたいましょう!!の会							
ねらい	① 会員を増やすための支援を行うことで、自主学習グループの維持・拡充を図る ② 自主学習グループの活動内容を広く地域住民に知ってもらう機会とする ③ 参加者に新たな趣味や生きがいをみつけてもらう							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	11月16日(日)		清里公民館で活動中の2つのグループが、日頃の活動を披露し、一般の方と踊りや歌で楽しい時間を共有する。			—	—	
	13:35	14:45				清里フォークダンス愛好会 清里ウクレレ倶楽部		
	50	41						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	高齢者の外出の機会となった
地域のニーズにこたえているか	○	踊りや歌と一緒に歌うニーズがあるとの、役員のリサーチ結果による
企画・事前準備は十分であったか	○	役員や講師をしてくれるグループ代表と、何度も打合せを実施
学習者の満足度はどうであったか	○	講座終了後の聞き取りで、ほとんどがとても良かった、楽しかったとの回答
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	講師グループは、発表の場数を踏む良い経験になった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報及び回覧で周知

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	・踊りましょうー清里フォークダンス愛好会ー普段学習者は女性だけだが、今回男性の受講者がいたので、男女ペアでの踊りを教える事ができたので、講師はとても教え甲斐があったようだ。 ・歌いましょうー清里ウクレレ倶楽部ー練習している曲の中から、誰でも歌いやすい曲を選んでもらい、なおかつ歌いやすいゆっくりめの伴奏を心がけてもらった。	
改善点	・踊りましょうー清里フォークダンス愛好会ーフォークダンスのイメージを覆すアップテンポな曲もあったので、スローテンポのものの方が良いようだ。 ・歌いましょうー清里ウクレレ倶楽部ーグループ全員で演奏してもらったが、何人か選抜して演奏してもらう方が良くもしい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	(1) 会員を増やすための支援を行うことで、自主学習グループの「維持・拡充」を図る。 (2) 自主学習グループの活動内容を広く地域住民に知ってもらう機会とする。 (3) 参加者に新たな趣味や生きがいをみつけてもらう。	

留意事項等	
-------	--



おどりましょう！



うたいましょう!!

様式 1

【事業一覧】

No	11	永明公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	6月14日(土)	えいめいミュージックサロンⅢ (※)	実10493531 報10533825	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	11	永明公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	えいめいミュージックサロンⅢ							
ねらい	① 永明公民館利用グループ間の交流促進 ② 公民館活動への理解 ③ 生きがいつくり・仲間づくりの機運醸成							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他	(連協だより)			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	6月14日(土)		アマチュア音楽グループである「ロス・アモーレス」コンサート。プログラムではメンバーの内田六次が講師を務める永明公民館自主学習グループ「永明ウクレレ教室」「ウクレレ金曜クラブ」も出演した。			—	—	
	14:00	16:30				音楽グループ 「ロス・アモーレス」		
	40	158						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	高齢化、社会の連帯に応えた
地域のニーズにこたえているか	○	自主学習グループの成果発表
企画・事前準備は十分であったか	△	事前の要項や募集の枠組み（定員）を超える募集を講師が行い、一部に支障を生じた
学習者の満足度はどうであったか	○	おおむね満足
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	一部のグループが出演
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	△	講師側の働きかけで、当日定員を超過し、運営に支障がでた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点 37

事業の総合評価	C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	・公民館利用グループ間の交流促進、学習活動の活性化 ・公民館活動等への理解促進 ・生きがいつくり、仲間づくりの一層の醸成を目的に開催した。永明公民館自主学習グループ「永明ウクレレ教室」「ウクレレ金曜クラブ」の出演もあり、学習成果の発表や還元という点でも効果があった。	
改善点	受講者は定員をはるかに超える人数となったが、本来の連協グループ会員の参加は、11団体36名にとどまった。講師側の個人的なつながりやよびかけで多数を集めたが、肝心の連協会員の敬遠や駐車場不足などの問題が生じた。	

次年度の事業継続の評価	見直し改善	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	にぎわいをみせたが、運営面で反省点	

留意事項等	
-------	--

	
講師のみなさん	サロンの様子

様式 1

【事業一覧】

No	12	城南公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	6月24日(火)	夏を乗り切る！熱中症対策講座	実10478304 報10549802	
2	自主学習 グループ支援 事業	講義・ 実習	9月 1日(月) ～ 9月30日(火)	サークル見学・体験月間	実10513497 報10665717	
3	自主学習 グループ支援 事業	講義	1月27日(火)	地域支援のための赤十字講習 ～ともに楽しいひと時を～	実10663423 報10735687	
4	自主学習 グループ支援 事業	実習	2月15日(日)	吹奏楽ミニコンサート (※)	実10686480 報10752525	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	12	城南公民館			経費	¥15,000		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	吹奏楽ミニコンサート							
ねらい	① 自主学習グループの活動を地域へ知ってもらう機会とする ② 音楽への興味関心を高め、地域文化の向上を図る ③ 自主学習グループを出演者として、日頃の活動の成果を十分に発表できる機会を提供する							
対象	■ 乳幼児	■ 小学生	■ 中学生	■ 高校生	□ 保護者	■ 一般	□ 高齢者	
周知	■ 館報	■ HP	■ チラシ	■ その他（すぐる配信、インスタグラム）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	2月15日(日)		・学習グループの活動を知ってもらう ・音楽に親しむ機会を提供する			15,000円	—	
	14:00	15:00				ノースウィンド オーケストラ		
	80	63						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	城南地区で移動が困難な方は音楽に親しむ機会が少ないという課題を汲み取り企画したため
地域のニーズにこたえているか	◎	文化祭の発表で興味を持った地域住民からの要望を受けて企画を実現することができたため
企画・事前準備は十分であったか	○	出演者との打ち合わせを密に行い、準備・本番もスムーズに進めることができたため
学習者の満足度はどうであったか	◎	生演奏で様々な楽器の音色が聞けて満足してくれた参加者が多かったため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	城南公民館で活動している出演者の活動や、日頃の成果を知ってもらうことができたため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	公民館報や学校への配信で幅広い世代に周知をし、募集定員に達することができたため

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	学習グループの既存の発表機会（文化祭・芸能発表会）は1グループ10分程度の演奏のため、「もっとじっくり演奏を聞いてみたい」という地域の方からの希望が多く寄せられていた。今回出演してくれた学習グループも、「日頃の活動の成果をちゃんと発表したい。もっといろんな楽器の演奏を楽しんでほしい」という希望があり、今回の企画に至った。申し込みは定員の80名を超える方から寄せられた。申し込みの半数はフォームからで、子育て世代からの申込みも多かった。出演者が自身のSNSやHPで宣伝をしてくれた効果も大きかったと感じる。	
改善点	当日は、申し込みをしていない方の参加があったり、連絡のない欠席が多かったりと、開演直前まで人数が読めなかった。LoGoフォームで申込を募集すると、参加のハードルが下がる分、無断キャンセルも起きやすいと感じた。特に講義・演奏会形式だと起こり得ると思うので、予備の椅子をすぐにセッティングできるような工夫があると良いと感じた。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	学習グループが日頃の活動の成果を発表する機会は、今後もあらゆる形で提案していく必要があると考える。今回は、コンサートの出演者という形を採ったが、講師や協力者など、様々な方法があると思う。そのような講座を実施することで、学習グループのモチベーション向上や、会員の増加、学習の地域還元などが期待できるため、今後も維持していきたい。	

留意事項等	
-------	--



演奏会の様子



演奏が手拍子で盛り上がる様子

様式 1

【事業一覧】

No	13	大胡公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	2月3日(火)	聴こえの教室 (※)	実10664241 報10740886	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	13	大胡公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	聴こえの教室							
ねらい	① 大胡公民館自主学習グループ同士の交流の機会として学習の場を設け、グループ活動の充実と活性化を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☐ 館報	☐ HP	☐ チラシ	☒ その他（公民館利用申請説明会通知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	2月3日(火)		言葉の聞き取りクイズなどを交え、自分の耳・聴こえに関心をもってもらう。			—	—	
	14:00	15:00				コトブキ補聴器前橋店 店長 小川 能史		
		25						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	普段意識することの少ない聴こえについて考える機械の提供
地域のニーズにこたえているか	○	参加者の年齢に合った講座内容であった
企画・事前準備は十分であったか	○	企業による出前講座を始めて利用したが、依頼先が出前講座慣れしていてお任せだった
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケート結果から概ね満足という評価だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	自分の生活に役立てたい、知人、サークルのメンバーに伝えたいなどの意見があった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館利用申請説明会の周知に合わせて周知活動を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	日常生活に密接にかかわる聴こえについてわかりやすく学ぶことができた。	
改善点		

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学習グループの交流の機会として必要だと思う。	

留意事項等	
-------	--

	
講座の様子	講座の様子

様式 1

【事業一覧】

No	14	宮城公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	実習	9月 3日(水) 9月17日(水) 10月 1日(水) 10月15日(水) 10月29日(水) 11月 2日(日)	ことばと心でつながろう！はじめての演劇講座(※)	実10564684 報10661278	
2	自主学習 グループ支援 事業	実習	9月23日(火)	秋の音楽会 ～公民館で楽しむオーケストラ～	実10585175 報10627498	
3	自主学習 グループ支援 事業	実習	1月29日(木)	生演奏で歌って動いて健やか講座	実10685595 報10740401	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館			経費	¥27, 500		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	ことばと心でつながろう！はじめての演劇教室							
ねらい	① 地域の学習拠点として自主学習グループの立ち上げを目指す ② 地域住民の交流の機会を創出し、仲間づくりの一助とする ③ 文化祭等の地域行事で成果を発表し、地域の活性化に繋げる							
対象	☐ 乳幼児	☒ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☐ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☒ HP	☒ チラシ	☒ その他（子ども会経由の周知）				
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額	
	開始	終了				講師名		
	定員	参加者						
1	9月3日(水)		第1回「講座説明・お楽しみワーク」 自己紹介、ストレッチ、基本の発声法、台本配布 ※台本「アイ ライク」朗読劇（講師による作・演出）			4, 500円	—	
	19:00	20:30				北爪 美歌		
	10	6						
2	9月17日(水)		第2回「お芝居のきほん」 基本の表現、喜怒哀楽ワーク、演出説明、本読み			4, 500円	—	
	19:00	20:30				北爪 美歌		
	10	6						
3	10月1日(水)		第3回「台本を読んでみよう」 配役発表、台本の立ち稽古、伝わる読み方にチャレンジ			4, 500円	—	
	19:00	20:30				北爪 美歌		
	10	7						
4	10月15日(水)		第4回「お芝居をしてみよう」 ステージで立ち稽古、本番の衣装で練習、文化祭ステージ発表当日の説明			4, 500円	—	
	19:00	20:30				北爪 美歌		
	10	6						
5	10月29日(水)		第5回「本番の練習をしよう」 リハーサル、ステージ発表当日の最終確認			4, 500円	—	
	19:00	20:30				北爪 美歌		
	10	7						
6	11月2日(日)		本番 宮城地区文化祭ステージ発表に出演 はじめての演劇発表への挑戦を楽しむ。地域行事でルールやマナーを守り行動する。			—	—	
						北爪 美歌		
	10	7						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	身近に演劇を学べる場所が無かったため
地域のニーズにこたえているか	○	身近に演劇を学べる場所が無かったため本講座は演劇に挑戦したい子ども達を応援できた
企画・事前準備は十分であったか	◎	文化祭でのステージ発表を目標に、各回の成長過程を考慮した内容が十分であった
学習者の満足度はどうであったか	◎	アンケート結果や講座中の意欲的な態度、活発な意見等からも満足度の高さがうかがえる
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	文化祭ステージ発表への出演も果たし、またグループ結成へ向け活動中である
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、タブレット配信に加え、子ども会も周知、参加者の取りまとめに協力していただいた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価		B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	地元講師の発掘、及び地区内にはこれまで無かった演劇を学べる場所の創出の両方を叶えることができた。 今回は文化祭ステージ発表を目標とし、短期間で配役を設定した練習であったため受入人数を限定したが、今後も活動の継続を希望する受講生に加えて演劇に挑戦したい子ども達の受け皿となるようグループ化に向け支援している。		
改善点	活動発表の場が文化祭以外にもあると受講生たちの達成感に繋がる。		

次年度の事業継続の評価		維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学習グループ立ち上げを目的とした講座は、参加者の主体的な学びと継続的な活動を期待できるため。		

留意事項等	
-------	--

	
役になりきって演技します	ステージで台本読み

様式 1

【事業一覧】

No	15	粕川公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	講義	1月30日(金)	住宅の火災予防対策 (※)	実10691001 報10736925	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	15	粕川公民館			経費	—	
事業名	自主学習グループ活動支援			講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	住宅の火災予防対策						
ねらい	① 火災の怖い時期だからこそ自分事として火災予防対策を学ぶ ② 市内での火災発生状況など消防職員から具体的に説明を受け、予防のアドバイスや新たな気づきを得るため ③ 自分自身、ひいては地域の安全安心な暮らしを守るため						
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☒ 高齢者
周知	☐ 館報	☐ HP	☒ チラシ	☒ その他（減免説明会開催通知に同封）			
回	月日		学習主題・内容			講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了				講師名	
	定員	参加者					
1	1月30日（金）		それいけ！まえばし出前講座2025「住宅の火災予防対策」 過去の火災事例から、住宅火災を予防するポイントを学ぶ			—	—
	14:00	14:45				前橋市消防局予防課職員	
	30	24					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	冬場の住宅火災や山林火災は恐ろしく、赤城南麓に位置することから自分事として捉える為
地域のニーズにこたえているか	◎	高齢者世帯また単身世帯の現状を考慮し火の用心に関する意識を高めたい
企画・事前準備は十分であったか	○	消防局予防課と講座進行等事前の調整を図った
学習者の満足度はどうであったか	○	具体的な事例を学習することができた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	△	家庭で話題にするきっかけを提供できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	減免説明会開催通知に同封し確実な周知を行なった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 42

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	住宅火災の予防は、最も身近な火災対策である。今回の講座ではごく普通に身の回りにある具体的な事例を基に、見落としがちなポイントやまたそれを予防する工夫などわかり易く解説してもらった。消防局職員による講話であることから、リアリティが感じられ参加者も話に傾く場面が多かった。こうした講話で、住宅火災を自分事として考えるきっかけと感じてもらえれば、講座開催の意義は大きいと考える。	
改善点	火災予防の基本的事項は押さえつつ、次回開催時は切り口を変えて、新たな気づきが得られるような内容を講師と調整したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	防災や防火に係る講習は継続が重要であり、家族で話題にすることで自分事にできる。	

留意事項等	
-------	--

	
住宅火災予防パンフレットを基に説明	火災に繋がる具体的事例を紹介

様式 1

【事業一覧】

No	16	富士見公民館	事業名	自主学習グループ活動支援		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	自主学習 グループ支援 事業	実習	9月 1日(月) ～ 9月30日(火)	自主学習グループ「9月見学・体験月間」 (※)	実10517318 報10669319	
2	自主学習 グループ支援 事業	実習	9月 2日(火)	富士見公民館清掃活動	—	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	16	富士見公民館			経費	—		
事業名	自主学習グループ活動支援				講座区分	自主学習グループ支援事業		
講座名	自主学習グループ「9月見学・体験月間」							
ねらい	① 自主学習グループの活動内容を地域住民に広く知ってもらう ② 自主学習グループの会員数増加を目指す ③ 自主学習グループの活性化と参加者同士の交流を図る							
対象	☐ 乳幼児	☐ 小学生	☐ 中学生	☐ 高校生	☐ 保護者	☒ 一般	☐ 高齢者	
周知	☒ 館報	☐ H P	☒ チラシ	☐ その他（ ）				
回	月 日		学習主題・内容				講師謝礼金額	実費負担金額
	開始	終了					講師名	
	定員	参加者						
1	9月 1日(月)		地域住民が学習活動に興味を持ち、見学や体験を通して学習グループの活動を知る機会として開催された。参加グループは29団体。				—	—
	～ 9月30日(火)							
	9:00	17:00					—	
		10						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	自主学習を通じて参加者同士の交流が図れた
地域のニーズにこたえているか	△	気軽に自主学習グループに参加できる機会にしたい
企画・事前準備は十分であったか	○	毎年開催しているので問題はなかった
学習者の満足度はどうであったか	△	酷暑もあり見学希望者が少なかった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	どのようなグループ活動をしているか知ってもらえた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	地域への回覧チラシや館報で周知できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める		平均点	37
---	--	-----	----

事業の総合評価		C	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	見学者が少なく、問い合わせも多くなかった。猛暑で外出を控えるなどの影響があった。通常時から見学等の問い合わせには対応しているので、回覧で興味を持った方が期間外でも問い合わせることに期待したい。		
改善点	来年度の参加に前向きな団体が多いので、周知方法等を検討して来年度は見学・体験希望者を増やしたい。		

次年度の事業継続の評価		維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域交流の機会として、見学・体験月間が定着しつつあるため。		

留意事項等	
-------	--

写真①	写真②